

漁業・水産業のビジネスサポーター

 ニチモウ株式会社

2024年3月期 決算短信補足説明資料

2024年5月10日

8091

プライム市場



 ニチモウ株式会社

2024年3月期決算

決算のポイント：増収確保だが、事業整理・コスト増などで減益

売上高：127,756百万円 前期比+0.7%（業績予想修正前増減率△2.5%）

営業利益： 2,020百万円 同△29.7%（同上△34.8%）

- ・ALPS処理水問題など外部環境は厳しかったが、過去最高に迫る売上高を計上
- ・主要事業は、「期初前提条件との相違」もあり食品352百万円、資材87百万円の減益
- ・加えて、事業再構築・整理の一環として605百万円を損失計上

期初前提条件との相違

インバウンドや外出需要は想定通り回復傾向にありながらも、継続する物価上昇で、個人消費が低迷
製造コストの高止まりに加え、中国等の水産物禁輸措置による原料相場上昇も影響

主要4事業の概況

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 食品事業：減収減益 | すり身の市況悪化、助子の量販向けコスト増を価格転嫁できず大幅減益 |
| 海洋事業：増収減益 | 漁網・養殖関連資材販売は堅調も、海苔機製造子会社の在庫評価減により一転減益 |
| 機械事業：増収増益 | 為替の影響を追い風に、中小型案件を着実に積み上げ |
| 資材事業：減収減益 | 原料高騰分の製品・販売価格転嫁に苦戦 |

2024年3月期決算：増収減益、投資有価証券売却益により当期純利益は最低限を確保

売上高：127,756百万円（+0.7%）

海洋・機械事業が牽引し、過去最高に迫る売上高を計上

営業利益：2,020百万円（△29.7%）

機械事業は増益確保も、食品事業はすり身市況悪化、資材事業は価格転嫁苦戦、加えて子会社の損失計上により大幅減益

(単位：百万円)	2023年 3月期	構成比 (%)	2024年 3月期	構成比 (%)	前期比 (%)	期初計画 (2023年5月 発表)	直近計画 (2024年4月 発表)
売上高	126,829	100.0	127,756	100.0	+0.7	131,000	127,500
売上総利益	11,315	8.9	10,780	8.4	△4.7	—	—
販売費及び 一般管理費	8,441	6.7	8,760	6.9	+3.8	—	—
営業利益	2,874	2.3	2,020	1.6	△29.7	3,100	2,000
経常利益	3,220	2.5	2,562	2.0	△20.5	3,500	2,550
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,437	1.9	2,349	1.8	△3.6	2,500	2,300

事業別動向（前期比）

事業再構築・整理の一環として、食品・海洋・物流子会社の損失605百万円を計上

(単位：百万円)		2023年3月期	構成比 (%)	2024年3月期	構成比 (%)	増減
全体	売上高	126,829	100	127,756	100.0	+926
	営業利益	2,874	—	2,020	—	△854
食品	売上高	82,907	65.4	82,288	64.4	△618
	営業利益	2,170	50.8	1,636	45.1	△534
海洋	売上高	20,978	16.5	21,813	17.1	+835
	営業利益	617	14.5	503	13.9	△114
機械	売上高	11,244	8.9	12,259	9.6	+1,014
	営業利益	945	22.1	966	26.6	+21
資材	売上高	8,790	6.9	8,506	6.7	△283
	営業利益	437	10.3	349	9.6	△87
バイオティックス	売上高	312	0.2	309	0.2	△2
	営業利益	13	0.3	24	0.7	+11
物流	売上高	2,489	2.0	2,469	1.9	△19
	営業利益	△46	—	△120	—	△73
その他*	売上高	107	0.1	109	0.1	1
	営業利益	86	2.0	148	4.1	+61
全社費用		△1,351	—	△1,489		△137

*その他は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。

主力事業の状況① 食品事業・海洋事業

食品：減収減益 すり身の市況悪化、助子の量販向け価格転嫁進まず大幅減益

(単位：百万円)	2023年3月期	利益率 (%)	2024年3月期	利益率 (%)	増減
売上高	82,907	—	82,288	—	△618
営業利益	2,170	2.6	1,636	2.0	△534

- < 鮮凍水産物 > (44.5%) カニは相場の下落の影響を受け減収だが、通販・業務用向けの販売が好調に推移し増益
助子は土産向け販売が堅調に推移し増収も、量販店向けが原料高騰等の上昇分を販売価格に転嫁できず大幅減益
北方凍魚は、為替変動の影響などで相場が弱含みで推移したことに加え、新規案件が計画通りに進まず減収減益
- < 加工食品 > (35.6%) ツナやサケ・マス加工品において、原料価格高騰に対する製品価格への転嫁を進め、販売数量を確保するも、煮魚・焼き魚での販売が苦戦し売上前期並み減益
- < すり身 > (19.9%) 昨年から断続的な原料相場の下落が年末に底を打ち、年末商戦に販売攻勢をかけるも挽回には至らず減収減益

海洋：増収減益 漁網・養殖関連資材販売は堅調も、海苔機製造子会社の在庫評価減により一転減益

(単位：百万円)	2023年3月期	利益率 (%)	2024年3月期	利益率 (%)	増減
売上高	20,978	—	21,813	—	+835
営業利益	617	2.9	503	2.3	△114

- < 養殖部門 > (49.4%) 養殖魚の需要は堅調に推移し増収も、海苔機の製造・販売する子会社において在庫の評価見直しにより大幅減益
- < 漁網・漁具資材部門 > (43.2%) 近海での一部魚種の豊漁に伴い各種資材の購買意欲が高まり、需要が増加したことにより増収増益
- < 船舶・機械部門 > (7.4%) 船舶用機器類ならびに船用品のきめ細かな営業活動が功を奏し増収増益

主力事業の状況② 機械事業・資材事業

機械：増収増益 省人・省力化設備の需要の高まりと円安効果により輸出が好調

(単位：百万円)	2023年3月期	利益率 (%)	2024年3月期	利益率 (%)	増減
売上高	11,244	—	12,259	—	+1,014
営業利益	945	8.4	966	7.9	+21

<国内> (84.9%) 食品加工業界における機器類の増設や更新などの中小型案件を確実に積み重ね増収増益

<海外> (15.1%) 円安による輸出面でのメリットを享受しながら、省人化を目的とした豆腐・総菜など各種生産設備の需要が増加し増収増益

資材：減収減益 化成品・農畜資材の原料高騰分を販売価格転嫁に苦戦

(単位：百万円)	2023年3月期	利益率 (%)	2024年3月期	利益率 (%)	増減
売上高	8,790	—	8,506	—	△283
営業利益	437	5.0	349	4.1	△87

<化成品> (93.6%) 合成樹脂ならびに包装資材における各種商材の原料価格高騰に対し、製品・販売価格への転嫁が計画通りに進まず減収減益

<農畜資材> (6.4%) 農業用資材・肥料が、それぞれ原料価格高騰の高止まりにより、販売で苦戦し減収減益

貸借対照表（要約）

- ・ 増資完了（新株予約権の行使）や利益積上げで純資産増加
- ・ 他方、営業資金効率の改善で有利子負債削減が進み、自己資本比率は向上（30.6%→34.9%）

	資産の部			負債・純資産の部			
	(単位：百万円)	2024年3月期		前期末比増減	(単位：百万円)	2024年3月期	前期末比増減
流動資産		56,596	+1,444	流動負債		38,806	+849
現金及び預金		8,358	+744	支払手形・買掛金		16,273	+3,690
受取手形・売掛金		17,671	+509	短期債務		17,586	△4,049
商品及び製品		24,778	+139	契約負債		2,082	+211
固定資産		24,378	+1,004	固定負債		13,937	△2,658
有形固定資産		9,174	△711	純資産		28,349	+4,254
無形固定資産		761	△10	株主資本		23,298	+2,373
投資その他の資産		14,442	+1,726	その他包括利益計		5,034	+1,879
資産合計		81,092	+2,445	負債・純資産合計		81,092	+2,445

キャッシュ・フロー計算書

- ・ 営業キャッシュ・フローは、大幅改善
懸案事項である水産物の不安定な相場変動に備えた在庫資金確保の必要性を、
拡販並びに営業資金効率の改善で対応。有利子負債の圧縮（短期借入金返済）が進む

(単位：百万円)	2022/4-2023/3	2023/4-2024/3	増減	主な要因
現金及び 現金同等物の期首残高	5,571	6,939	+1,368	
営業活動によるキャッシュフロー	+912	+6,629	+5,717	税金等調整前当期純利益 + 3,521 売上債権の増加△28 棚卸資産の増加△416 仕入債務の増加 + 3,635
投資活動によるキャッシュフロー	△1,268	+1,276	+2,544	投資有価証券の売却による収入 + 2,346 有形・無形固定資産への投資△1,049
フリーキャッシュフロー	△356	+7,905	+8,261	
財務活動によるキャッシュフロー	+1,618	△7,282	△8,900	短期借入金の純減額△6,577 配当金の支払額△744
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,939	7,658	+719	

設備投資計画：進捗率低いが着実に投資を実施

中期経営計画投資枠合計100億円

- ①陸上養殖の事業化（新規事業）
30億円
- ②バイオマス漁網の実用化（研究開発）
10億円
- ③水産物加工の安定供給体制（設備投資）
30億円
- ④M & A 資金（既存事業強化）
20億円
- ⑤その他（システム開発費用）
10億円

2024年3月期末時点 投資累計額

- ①陸上養殖事業化 5.7億円（2024年3月期：1.2億円）
⇒Phase 2(年間生産量300t→3,000t) 移行検討中
- ②バイオマス漁網実用化 1.9億円（2024年3月期：0.9億円）
⇒生分解性の海洋資材・廃棄漁網リサイクルの研究開発他
- ③水産物加工の安定供給 16.6億円（2024年3月期：2.0億円）
⇒紋別地区水産物加工工場へ機器類増設
- ⑤その他（システム費用） 4.9億円（2024年3月期：2.3億円）
⇒インボイス・電帳法に対応したシステムの改修

調達額 19.4億円
新株予約権発行（2023年6月行使完了）
当初調達金額 約18.6億円
①陸上養殖建設資金 15億円
②バイオマス漁網実用化研究開発資金 3.6億円

- 計画の進捗に遅れが生じているが、①陸上養殖の事業化、②バイオマス漁網の実用化、③水産物加工設備、⑤システム開発については引き続き積極的な投資を継続
- ④M&Aについても複数候補案件があり、慎重に検討中



ニチモウ株式会社

2025年3月期業績見通し

事業環境と評価（前期総括を踏まえた今期見通し）

外部環境は引き続き斑模様だが、当社ビジネスはニッチで競争力あり、堅調に推移する見通し

2024年3月期（前期）総括

外部環境

- ・国内個人消費は物価高の影響もあり、やや弱かった
- ・インバウンド効果は完全回復に至らず

内部環境

- ・各事業ともほぼ順調だが市況悪化など懸念材料が多かった
- ・過去の不良資産を期末で整理（在庫評価減など）

2025年3月期（今期）見通し

外部環境

- ・物価高継続で生活防衛意識が高く、個人消費は弱含み状況続く
- ・他方、円安効果によりインバウンド需要へ更なる期待大

内部環境

- ・引き続き各事業とも堅調に推移
⇒特に養殖事業に注力
- ・過去の不良資産は一掃され、バランスシートはスリム化

今期、具体的に期待できるテーマ

海外販売と養殖事業の拡大が期待できる見込み、インフレ・円安リスクへの対応も想定

2024年3月期（前期）

期待できる要素	事業セグメント			
	食品	海洋	機械	資材
消費行動活発化	△			
外食・インバウンド需要	△			
省人省力化設備投資活発化			○	△
海外販売の拡大			○	
養殖事業の拡大(安定供給)	△	○		
リスク				
インフレ基調への対応	△	△	△	×
円安の継続	△			

2025年3月期（今期）

事業セグメント			
食品	海洋	機械	資材
○			○
◎	○		
		○	○
	○	◎	
○	◎	○	○
○	○	○	○
○			

2025年3月期見通し：売上高1,350億円（+5.7%）、営業利益34億円（+68.3%）

売上高・営業利益ともに、過去最高更新を視野に

- 売上高：①消費活動活発化で食品事業中心に全分野で増収を想定
 ②海洋事業は養殖事業の拡大で増収を見込む
 ③機械事業は円安効果による海外案件拡大で増収を見込む
- 営業利益：①主要4事業は、全て増益を想定
 ②前期の不良資産を一掃したことによりV字回復を想定

(単位：百万円)	2024年3月期	構成比 (%)	2025年3月期	構成比 (%)	前期比	
					(%)	+ 差異
売上高	127,756	100.0	135,000	100.0	+ 5.7	+ 7,244
営業利益	2,020	1.6	3,400	2.7	+ 68.3	+ 1,380
経常利益	2,562	2.0	3,600	2.8	+ 40.5	+ 1,038
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,349	1.8	2,600	2.0	+ 10.7	+ 251

2025年3月期見通し（事業別）

主要4事業を中心に安定成長、全分野で増収増益を想定

(単位：百万円)		2024年3月期 実績	構成比 (%)	2025年 3月期見通し	構成比 (%)	増減
全体	売上高	127,756	100.0	135,000	100	+7,243
	営業利益	2,020	—	3,400	—	+1,379
食品	売上高	82,288	64.4	87,000	64.4	4,711
	営業利益	1,636	45.1	2,350	48.0	713
海洋	売上高	21,813	17.1	22,500	16.7	686
	営業利益	503	13.9	650	13.3	146
機械	売上高	12,259	9.6	13,500	10.0	1,240
	営業利益	966	26.6	1,200	24.5	233
資材	売上高	8,506	6.7	9,000	6.7	493
	営業利益	349	9.6	450	9.2	100
バイオティックス	売上高	309	0.2	400	0.3	90
	営業利益	24	0.7	50	1.0	25
物流	売上高	2,469	1.9	2,500	1.8	+30
	営業利益	△120	—	100	2.0	+220
その他*	売上高	109	0.1	100	0.1	△9
全社費用		△1,489	—	△1,500	—	△10

* その他は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。

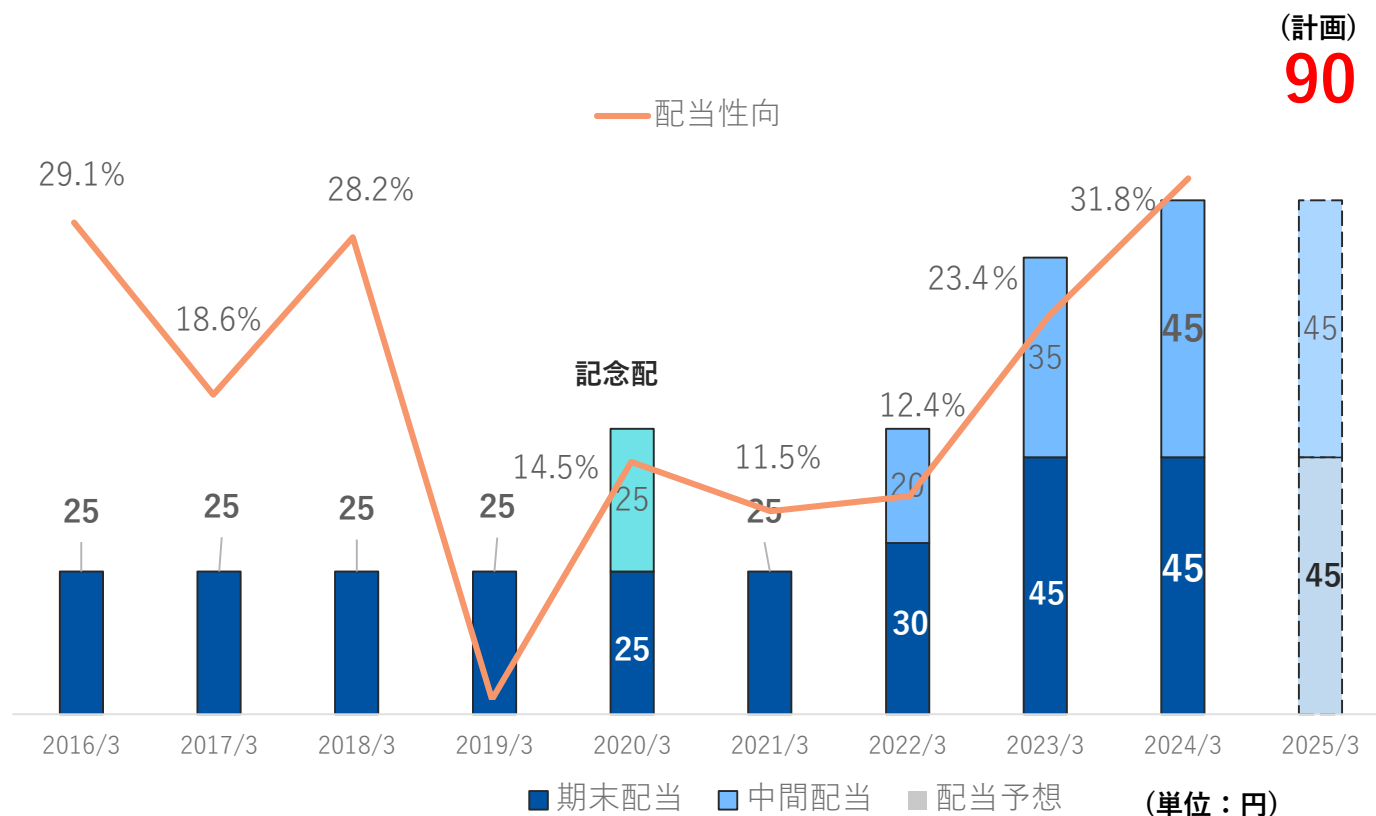
 ニチモウ株式会社

株主還元策

配当金：2025年3月期予想は、2024年3月期同様の年間90円

2024年3月期・2025年3月期(計画)：1株当たり年間配当90円(中間45円+期末45円)

- ・2024年3月期：営業減益だがキャッシュ創出力（EBITDA又は営業キャッシュフローを想定）が安定してきたので、2023年3月期（分割前）比実質+20円の年間90円
配当性向は30%を超過
- ・2025年3月期：業績回復軌道を前提に、2024年3月期並みの年間90円を計画 ※累進配当政策は維持



* 2017年3月期以前は併合前の数字を、2024年3月期中間期以前は分割前の数字を調整

2024年5月20日に「2024年3月期決算説明会」の
動画配信を予定しておりますのでぜひご視聴ください。

<https://www.nichimo.co.jp/ir/library/>

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、
現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
また、本資料の著作権を含む一切の権利はニチモウ株式会社に帰属します。

IRに関するお問い合わせ

ニチモウ株式会社 総務部IR担当

E-mail：ir@nichimo.co.jp

TEL：03-3458-3020

2024年5月